

HIT-Math 2026 ミニワークショップ

数学教員や学生, 若手研究者や他分野の専門家同士の相互交流と, 互いの研究に関する情報交換を目的とし, 下記の要領で研究集会を開催いたします.

日時 2026年1月23日(金) 14:00 – 17:00

場所 広島工業大学 (27号館 1階多目的室 27-110)

世話人 久保 亮 (広島工業大学)

備考 本研究集会は「公益財団法人サタケ技術振興財団研究助成」の支援を受けて開催されます.

プログラム

14:00–14:10 開会の挨拶

卒業研究発表

14:10–14:20 久保 恒輝 (広島工業大学 B4)

反応拡散方程式系における時間大域解および爆発解に対する空間非一様性の影響

院生ショートトーク

14:30–15:00 佐藤 里樹 (広島工業大学 M1)

$K_n + E_m$ の誘導する等角直線族の強極大性について

15:15–15:45 宮地 宗人 (広島大学 D1)

一般化された Hurwitz-Radon 数の幾何学的意味付け

16:00–16:30 長屋 拓暁 (広島大学 D2)

Higson 関数を用いた等質空間における群作用の固有性判定について

16:30–17:00 フリーディスカッション